

6727

ワコム

代表取締役社長兼CEO  
井出 信孝 氏

## ワコム第2章の事業戦略

## 会社概要・プロフィール

- **35年以上に渡るデジタル・ペンとインクへの取り組み**
  - ・1987年 世界初のコードレスペンタブレットを商品化
  - ・1998年 プロのクリエイター仕様の初代ペンタブレットを商品化
  - ・2018年4月 Wacom Chapter 2(ワコム第2章)スタート
- **主な事業区分**
  - ・ブランド製品事業:「ワコム」ブランドでクリエイティブユーザー向けにペンタブレット、ディスプレイ、モバイル製品等を販売。法人向けに電子サインタブレット、液晶ペンタブレット等を販売
  - ・テクノロジーソリューション事業:デジタル・ペン、センサーシステムなどをパソコンメーカーなどに販売。モンブランやステッドラーなど文具メーカーと協業し新しい市場の創造に取り組む
  - ・インク・ディビジョン(部門)では、ソフトウェアにフォーカスし、コンシューマ向けにデジタル文具などを開発

## 中長期戦略

- **2020年3月期決算予想**
  - ・売上高:940億円(前期比5%増)、
  - ・営業利益:52億円(同25%増)、
  - ・当期純利益:32億円(実効税率正常化で同17%減)
- **2020年3月期の取り組み**
  - ・ディスプレイ製品では、価格を引き下げたセミプロや学生向けエントリーモデルも追加
  - ・国内外のクリエイティブイベントに出展、当社商品の一層の浸透へ
  - ・教育向けアプリ開発コンテストや「デジタルインク&デジタル文具」イベントを開催。他企業と協業し当社製品の新たな用途開発
- **2022年3月期の経営目標**
  - ・売上高1,000億円、営業利益率10%、ROE15~20%
  - ・重要取り組み事項:顧客志向の技術革新、利益を重視した財務体質の確立

## 特徴・強み

- **活用されるデジタル・ペン技術**
  - ・「スターウォーズ」など米国ハリウッドを中心としたCG映画製作スタジオで活用
  - ・ディズニーなど国内外アニメーション制作スタジオで描画・色付
  - ・ゲーム制作現場でのリアルな造形の描写
  - ・自動車などの工業デザイン
- **3つの全社戦略**
  - ・テクノロジー・リーダーシップ:  
お客様との対話を通じて技術革新を提供
  - ・島(アイランド)と海(オーシャン)のビジネス:  
規模が限定されるプロ向け市場と「手書きのデジタル化」という高成長市場の異なる使命の2つの事業を島と海に例え、緊密に連携し、成長させる
  - ・大胆な選択と集中:  
全ての事業領域、オペレーションで実施

## 株主還元・配当政策

- **利益分配の基本方針**
  - ・将来の事業展開と財務体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当の継続と機動的な自己株式の取得
  - ・適正な財務の健全性確保を念頭に、配当性向の目安を30%程度としたうえで、1株当たり配当の中長期的な増加を通じた利益還元
- **1株当たり配当金予想**
  - ・2020年3月期配当金6.50円(前期実績6.00円)
  - ・配当性向33.0%(同25.3%)
  - ・自己資本比率実績推移:  
2017年3月期42%、2018年3月期45%、  
2019年3月期49%